

災害時に頼れる！消防団機能別団員



9月24日に開催された市総合防災訓練に参加した機能別消防団員の皆さん

今年4月1日、安城市消防団に機能別団員が誕生しました。機能別団員は災害時の人命救助等、入団時に取り決めた特定の活動を行い、特に大災害や洪水等のときに出勤します。

問▼危機管理課
(☎)71-2220

どんな人がなれるの？

満18歳以上の、市内在住もしくは在勤で消防団基本団員の経験がある者、又は団長が特殊な技能を有していると認めた者で組織されています。

定員は90人。今年度から30人ずつ採用し、平成31年度には合

計90人の頼もしい機能別団員が揃う予定です。

発足初年度の今年は、消防団基本団員経験者の中から希望する者が入団しました。現在の機能別団員は基本団員としての活動実績が3年、21年あるメンバーで、年齢層は30代、40代。最年長は48歳です。

どんな訓練をしているの？

災害時の人命救助に重点をおいた訓練を行っています。左記の3つの訓練が主なものです。

- 救出資機材の取扱訓練
(救出資機材：チェンソー、エンジンカッター等)
- 普通救命訓練
(AEDを使った心肺蘇生等)
- マルチコプター操縦訓練

▼消防団の行事や、市の防災訓練・町内会等の自主防災訓練にも参加しています



4月
機能別団員
発足式



9月
総合防災
訓練

機能別団員大募集

平成29年度は30人の頼れる精鋭を募集しています。

安城市消防団 機能別団員

検索

- 安城市消防団 Facebook
<https://www.facebook.com/AnjoFireVolunteer/>

機能別団員にインタビュー
「災害のときは、私たちが
をぜひ頼ってほしい。
任せてください」



稲垣正浩さん

加藤崇徳さん

写真は機能別消防団員として活躍している稲垣さんと加藤さん。

「子どもたちの笑顔を守りたい」という思いを胸に活動しています。機能別団員には使命感の強いメンバーが集まっています。それぞれに消防団基本団員の経験があり、「訓練や努力の積み重ねによって救える命があるのなら、何とかして救いたい」と活動に取り組んでいます。

機能別団員発足年度の今年は30人からのスタート。来年度以降、ともに活動するメンバーを募集しています。また、それ以上に一人



救助救出訓練の様子

ひとりの防災意識の向上が求められています。「まずは防災訓練・救命訓練に参加するところから始めてみてほしい。例えばジャッキの使い方を身につけるだけでも、災害時に重いものの下敷きになった家族や周りの人を助けることができます」と語ってくれました。

機能別団員と マルチコプター

本市では、今年度からマルチコプターを導入しました。大規模災害が発生したときに、いち早く広範囲にわたって被災状況を把握することが目的です。機能別団員に加えて、市職員を対象とした操作研修・訓練も実施しています。

マルチコプターの基礎知識と操作の研修・訓練を修了すると、修了ワッペンが付与されます。デザイン考案者は機能別団員で、マルチコプターの上に消防署の



修了ワッペン
(実際の色とは異なります)

地図記号を載せ、その上に消防団の桜マークをあしらって「団結と連携」をイメージしたものとなっています。機能別団員はこのワッペンを活動服の右肩につけています。一目で修了者となるため、一秒を争う現場において素早く識別でき、機能別団員のプロ意識の向上にもつながっています。



全国に先駆けてマルチコプターを導入しました。今後、災害時の被害状況の把握等に活用します。



マルチコプター操作研修